

# STUDENT EXCHANGE NEWS



近江兄弟社高等学校・中学校 国際交流委員会・留学生センターニュース

ISSUED BY THE INTERNATIONAL EXCHANGE COMMITTEE, OMI BROTHERHOOD SR. & JR. HIGH SCHOOLS

## 留学生スピーチ

### 「日本に來られてとてもうれしい」

12月4日(土)に開かれた第4回高校オープンキャンパスで、ベルギーからの留学生マリーさんが、約3カ月の滞在を振り返ってスピーチをしてくださいました。原稿は用意していましたが、ほとんど見ることなく、日本語で堂々とスピーチをして、参加した中学生や保護者から大きな拍手をもらいました。ほぼ原文のままスピーチを紹介します。



## 不思議の国、ニッポン

P1-4 Marie Ruys

生年月日：1992.8.31

WYS 年間留学生 出身国：ベルギー

滞在期間：2010.9.1 ~ 2011.6.30

みなさん、おはようございます。

私の名前は Marie Ruys です。ベルギーから来ました。一年前から日本語を勉強しています。9月から来年6月まで日本にいます。今日は私の留学生活のしょうかいをします。よろしくおねがいします。



子どものときから日本文化にきょうみがありました。日本語も大好きですよ！日本に來られてとてもうれしいです。

はじめは一ヶ月山科に住んでいました。ホストファミリーはお母さんとおばあさんと二人タイから来た留学生がいました。いい友だちになりました。今、来年の三月まで膳所でお母さんとお父さんと住んでいます。ホストファミリーの人はあまりわかくないけど、とても元気ですよ！ホストファミリーといっぱいかつどうをします。ときどき、ホストファミリーのまごが家に来ます。この子は元気すぎますけど、かれが大好きです！本当の家族の生活があります。

学校はとても楽しいです。授業がよく分かりません。でも、私の友だちはたくさんてつだってくれます。日本に來たとき、日本語でしゃべるのが本当にむずかしかった。いつも「ええ、わからへん！」と言っていましたけど、みんな

がゆっくり話してくれてとてもしんせつでした。私の先生もたくさんてつだってくれます。よくふりがなをつけてくれます。たんになの先生はたくさん日本語の本を私に貸してくれます。だんだん日本語をおぼえてきましたが、もっとたくさん勉強したいです。

友だちがいっぱいできました。よく友だちとあそびに行きます。ホストファミリーとたくさんかんこうします。ときどき、山科の家族をほうもんします。だから、日本の中によくとけこんだと思います。

日本にきたとき、ちょっと大変でした。ベルギーと日本はとてもちがうからです。ベルギーは国際色ゆたかな国です。ベルギーで電車にのるとき、いつも外国人がたくさんいます。でも、日本で電車にのるとき、私は一人だけ外国人でした。びっくりしてちょっとしんぱいしました。

ベルギーの高校と日本の高校はちがいます。ベルギーでは制服がありません。スリッパもありません。学校でみんなは自分の服を着てくつをはいています。高校でも部活がありません。だから、みんなは授業がおわってからすぐ家に帰ります。ベルギーでときどき学校の外の部活に入っていますけど、この部活は一週間に一回か二回だけです。ベルギーで、私は演劇の部活に入っていました。週末だけの活動でした。日本に來て、この学校の箏曲部と弓道部に入っています。こんな部活は私の国には全然ありませんから、とてもおもしろいです。

ベルギーの南のほうの学校では、いろいろな言語の授業があります。オランダ語をえらぶことができます。北のほうはこの言語(オランダ語)を話しますから。英語とスペイン語とドイツ語をえらぶことができます。日本語の授業はありませんから、塾に行って日本語をならいま

した。でも、ふつうは、塾に行くのは大人だけです。

ベルギー人にとって日本はふしぎな国です。ですから、私の友だちと家族はメールでいつも色々な質問を聞きます。「日本はどうですか?」「何を食べますか?」「日本の天気はあついですか?」「日本人のくせは何ですか?」「お寺と神社に行ったことがありますか?」「しゃしんを見せて!」などと言ってきます。

私はときどきベルギーをなつかしく思って、おちこんでいます、ベルギーの友だちと家族に会いたいし、ときどき日本の文化でまちがえる

し。でも、私の日本の生活は楽しいので、いつも早くまたうれしくなります。大きなもんだいが起きたとき、先生たちと友だちとホストファミリーのみんながささえてくれました。

Skype をするとき、家族はいつも「Marie はとてもしあわせそうです!」と言っています。これは本当で、日本の生活が大好きです。聞いてくれてありがとうございました。



イラスト by クリスティン

## 姉妹校留学生修了式

オーストラリア・タスマニア州の St. Patrick's College からの中期交換留学生、ジェラド君とローラさんの修了式が 12 月 17 日 (金) 放課後、ホストファミリーやクラスメイト、関係の先生方の出席のもと開催されました。2 人は昨年、短期ホームステイにも参加していますので、今回で 2 度目の滞在です。来春には、中学生 9 名が短期留学のプログラムで、同校を訪問、ホームステイをします。修了式でのジェラド君のスピーチを掲載します。



## 将来は日本で働きたい

I2-1 Gerard Cockburn

St. Patrick's College

滞在期間:2010.11.20 ~ 12.27

ホスト生徒: I2-1 畑乃里子、I1-1 井手吉あやめ



ぼくが日本にいる 6 週間、二つの素晴らしいホストファミリーのお家に泊まりました。何でも親切に教えてくれて、日本のでんとう的な文化をけいけんさせてもらい、色々お世話になりました。ほんとうにありがとうございました。京都や USJ に行ったり、買い物をしたり、一緒に時間をすごしたりしたことや、ここでできた思い出を一生忘れません。

学校での生活もすごく楽しかったです。お互いに理解できないときがあっても、I2-1 のともだちはぼくにとても親切でした。みんなが食べているお弁当はおもしろかったです。いつもきれいでできていて、おいしいです。

日本語の授業のときには、クリスティン、シルバン、ジョアオン、マリー、エツコ、それにローラと仲よくできてよかったです。日本とオーストラリアの学校のちがいがあることもおも

しろかったです。オーストラリアとちがって、日本では、学校の時間がながくて、生徒たちがとても真面目に学んでいます。そして、オーストラリアでは、それぞれが別の教室で勉強するのに対して、日本では、一日中同じ教室で勉強します。

近江兄弟社で勉強することで、日本語は少し上手になって、自信もついてきたと思います。世界のくにぐにから来た友だちができました。日本の生活や文化を高く評価するようになりしました。そして、この経験のおかげでもっと旅行をしたくなって、日本にもどってこられるように、まじめに勉強することを決めました。

これからも、大学で日本語の勉強をつづけたいと思います。それから、いつか日本にもどって来て働きたいと思います。日本語をぺらぺら話せるようになりたいです。

オーストラリアに帰ると、日本のみんなに会いたくなることはまちがいないと思います。6 週間ではなくて 6 か月間だったらいいのと思います。短い間でしたが、みんなから温かい歓迎を受けてうれしいです。この日本での生活を忘れられないほどいい経験をすることができたのはみなさんのおかげです。心から、ありがとうございました。

\*\*\*\*\*

## ♪ Happy Birthday ♪ とゴミ収集車

G 1-5 西山 華子

留学先：中国・広東省広州市

留学期間：2010.8.～ 2011.6

12月になりました。広州はコートもいらぬ暖かさです。10月下旬に冬のように寒くなる時がありましたが、それ以来はおよそ20度の毎が続いています。また、驚いたことに雪は降らないようです。雪が好きな私にとっては少し残念です。



広州市では11月12日から27日にわたり、Asian Games 2010（アジア競技大会）が開催されました。このため10月から約1カ月間、公園や道沿いには色とりどりの花が植えられ、道が整備され、さらに夜は高層ビルや道端に連なる木々がライトアップするなど、賑やかな街並みがつくられていきました。私の家の近くにある公立学校では、そのAsian Gamesの開会式のための練習が毎日行われていました。私はこのように町に活気があり勢いのある状況を初めて見た気がしました。自分の住む市でこのような大きな大会が行われたことが今までになかったからだと思います。開会式の当日は車の混雑を避けるために、道が閉鎖される場所もあり、私の通っている学校は休日となりました。先生方も大会を楽しみにしていらしたらしく、その日、私たち生徒に出された宿題はこの開会式を現地、あるいはテレビで見ることでした。現地へは必ず大勢の人が集うと思い、私は自宅で家族とテレビの周りを囲むことにしました。生中継でアナウンサーが大会について事細かく熱く語っているようでしたが、私はその早口な中国語をつかむことは出来ませんでした。日本でも放映されていたのでしょうか。ピアニストの演奏や、きらびやかな衣装で舞い踊る子供たち、シンクロ、ジェットスキー、など、工夫を凝らした様々なパフォーマンスが見られました。何千もの人々が開会式を盛り上げていました。テレビで見ていると一人一人が小さな点のようでした。人口の多い中国を生かした演出はとても美しく、私は感銘を受けました。

このごろ、夜10時から12時にかけて笛のような、電子音のような音が外から聞えていました。そのメロディーには聞き覚えがありました。Happy Birthdayの曲です。私は最初に聞いたときは、今日は誰かの誕生日で、友達や家族がその人へ演奏している音が聞こえてくるのだと思

っていました。しかし、その音は毎晩毎晩聞こえました。私はその音によってなかなか眠ることが出来なかったため、ある日、私はその音が何なのかを突き止めようと思いました。その日も夜11時に、いつものメロディーが聞こえてきました。私はその時に、静かにカーテンを開けて、窓の外を見てみました。すると、中型くらいのトラックのような車が通り過ぎるところが見えました。音のたねはそこからのようで、その車はなんと、ゴミ収集車でした。私は思いもよらぬ答えに驚きました。そしてプツと笑ってしまいました。ゴミ収集車がHappy Birthdayなんて。きっとその曲が選ばれた理由は、誰もが知っている曲であるということでしょう。ともすれば、ゴミが出なければゴミ収集の役目は無くなってしまいますので、「ゴミよ、生まれてきてくれてありがとう～」という含蓄の上でこの曲が選ばれたのか一色々と思いを巡らせる楽しい機会をもてました。

中国へ来る前、日本の冬、私の住む市では「雪やこんこ。霰やこんこ。降っては降ってははずんずん積もる～」というメロディーと共に運ばれてくるのは、大きなトラックとそれに乗ったいっぱい灯油でした。まずこの広州市では、灯油という言葉を学ぶ必要がなさそうです。

(2010.12.2)

## ピザの争奪戦、自由の国ブラジル

G 3-6 長谷川 颯也

留学先：Contagem 市（ブラジル）

留学期間：2010.8.7～ 2011.6.30

留学機関：ロータリークラブ



病気などなく、毎日元気ですごしています。薬を使うといえば蚊ぐらいでしょうか。なぜか自分はやたらと刺されます。

分らない単語を聞き逃しておろそかにすることなくその場で聞くようにしています。今まで大雑把に会話を理解してきましたが、細かい

ところまでこだわり、より確実に理解できるようにしています。買い物などに出て、まったく知らない人と話すとき緊張しないようによく、マクドナルドや、ファーストフード店などよく行くところをメインに練習しています。

先週、学校の授業がすべて終了し長期休暇に入りました。三年生は卒業し、私の二年生は次の最終学年になります。新しい家族に変わったので親戚などに会いに行ったりしています。沢山の親戚の方に会いました。一月にロータリーの旅行を控えています。

毎日どんどん暑くなっていきます。プールに行く機会が圧倒的に増えてきました。友人の家にはプールがあることが多いので何人かの友達と訪ねます。

友達のお父さんがロータリアンということでいつもとは違うクラブの例会に参加させていただきました。たくさんの人に留学生は支えられているのだと再確認した一日でした。自分のクラブの例会にも参加しました。

友達などと話す分には、話し方の癖なども分かるので、理解しやすいのですが、初めて出会う人と話すスピードやトーンなどで聞き取れないことが多いです。まだまだ話し足りていません。

いきなりのホストファミリーチェンジが一番困りました。夜の7時ごろにいきなり「今から変わってください」と連絡が入り、しっかり感謝を伝えられずに去るということになってしまいました。

近所なので翌日すぐに訪ねました。これほど適当にされるととても困ります。新しい家族とも毎週会っていたので抵抗もなく馴染んでいると思います。

ブラジルは本当に自由な国だなと思うことがとても多いです。友人と休日集まっているとき、宅配ピザを頼むことがあるのですが、届いた瞬間、争奪戦が始まってしまっって・・・。食べるだけですごく疲れます(笑)。

(2010.11.6)

## 毎日新しいこととの出会い

G2-10 西田奈津希

AFS 交換留学

滞在先：ベルギー

留学期間：2010.8.20～2011.7



ベルギーでの留学生活は、3カ月が過ぎました。

早朝と夜の気温は、氷点下を超え、日本の冬よりもすごく寒いです。また、雪もたくさん降ります。しかし、この時期のベルギーの町はとてもきれいです。サンニコラやクリスマス、新年を祝うイルミネーションが至るところにあり、それを見るために友だちと散歩に出かけます。また、今の時期は、フェスティバルもたくさんあります。町の真ん中にスケートリンクや小さな遊園地ができます。少し寒いですが、外を歩くだけでいろいろ楽しいです。

そして、3カ月が過ぎた今、相手の話していることやテレビ番組などが少しずつ理解できるようになり、会話のコミュニケーションもだいぶ楽になりました。自分の思っていることを満足のいくように話したり、学校の授業を理解したりすることなどは、まだ難しいですが、はじめのころに比べると、理解できる量は増えました。

今、学校は2週間のテスト期間中です。日本の学校とは違うところがたくさんあります。例えば、すべての高校に部活動というものがある存在しなかったり、授業の受け方も違ったりします。異文化の中での生活は大変なことも多いですが、毎日新しいこととの出会いがあり、おもしろいです。10カ月の留学期間のうちの3カ月が過ぎました。本当に思っていた以上に月日のはやく進んでいきます。この留学に踏み切った理由や、ベルギーを選んだ目的を見失わないように、残りの7カ月という時間を精一杯過ごしたいと思います。(2010.12.8)

### 高校1，2年生のみなさんへのお知らせ

#### 第25回A I U高校生国際交流プログラム

米国への短期留学生を募集。期間は7月17日～8月8日。ニューヨークの国連本部などを訪問するほか、現地高校生との共同生活も。定員40人(男女各20名)。参加無料。

条件は海外就学経験1年未満の高校生。校長推薦を得た上で申込書を郵送する。2月14日必着。書類や面接の選考がある。問い合わせは事務局(03-5819-8288) ホームページは <http://www.highschooldiplomats.org/>

※応募は、学校(国際部)でとりまとめますので、校内締切は1月20日(木)とします。